
操作手順書 (管理者向け)

システム名称 : 災害対応工程管理システム

発行番号 : H2102010-01

発行年月日 : 2021年12月15日

バージョン : 2.2

変更履歴

日付	バージョン	摘要

目次

1	BOSS の操作手順	1
1.1	ログイン	1
1.2	業務フロー	2
1.2.1	画面の説明	2
1.2.2	編集モード	4
1.3	業務フロー（災害モード）	18
1.3.1	画面の説明	18
1.3.2	全体ガントチャート	19
1.3.3	全体サマリ	20
1.4	中工程フロー	21
1.4.1	画面の説明	21
1.4.2	編集モード	23
1.5	中工程フロー（災害モード）	27
1.5.1	画面の説明	28
1.5.2	ガントチャート（都道府県単位）	30
1.5.3	ガントチャート（市区町村単位）	31
1.5.4	サマリ（都道府県単位）	32
1.5.5	サマリ（市区町村単位）	32
1.5.6	ツイート	34
1.6	業務詳細シート	35
1.6.1	画面の説明	35
1.6.2	編集モード	36
1.6.3	地域防災計画とのリンク	36
1.6.4	関係資料～その他のリンク	37
1.7	業務詳細シート（災害モード）	38
1.7.1	画面の説明	38
1.8	検索結果	39
1.8.1	画面の説明	39
1.9	詳細シート一覧	40
1.9.1	画面の説明	40
1.9.2	CSV エクスポート・インポート機能	41
1.10	アナウンス機能	46
1.10.1	画面の説明	46
1.10.2	通知	47
1.10.3	確認・削除	48
1.11	BOSS の管理機能	49
1.11.1	管理メニューの基本操作	50
1.11.2	災害種別管理	52
1.11.3	災害管理	53
1.11.4	対応時期管理	54
1.11.5	都道府県管理	56
1.11.6	市区町村管理	56
1.11.7	ユーザー管理	57
1.11.8	ユーザー編集可能災害種別管理	57
1.11.9	部署管理	59

目次

1.11.10	地域防災計画 PDF 管理.....	59
1.11.11	資料用ファイル管理.....	59
1.11.12	履歴管理.....	60
1.11.13	デフォルト色設定管理.....	61
1.11.14	通常/災害モードの切り替え.....	62
1.12	設定ファイル（共通）.....	63
1.12.1	UI 設定.....	63
1.12.2	自治体データファイルエクスポート設定.....	64
1.12.3	災害モード時の画面更新間隔.....	65

1 BOSS の操作手順

1 BOSS の操作手順

BOSS(防災システム)の管理者向けの操作手順を説明します。

1.1 ログイン

BOSS にアクセスすると、最初にログイン画面を表示します。



The screenshot shows the login interface for the BOSS system. At the top left, the text 'BOSS' and '災害対応工程管理システム' is visible. The main content area features a large blue shield logo with 'BOSS' and 'BOSS SYSTEM' text. Below the logo is a 'ログイン' (Login) section with three input fields: 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), and '災害種別' (Disaster Type). The '災害種別' dropdown menu is currently set to '地震' (Earthquake). A blue 'ログイン' button is positioned at the bottom right of the form.

管理者用の ID とパスワードを入力し、災害種別名を選択して「ログイン」をクリックします。

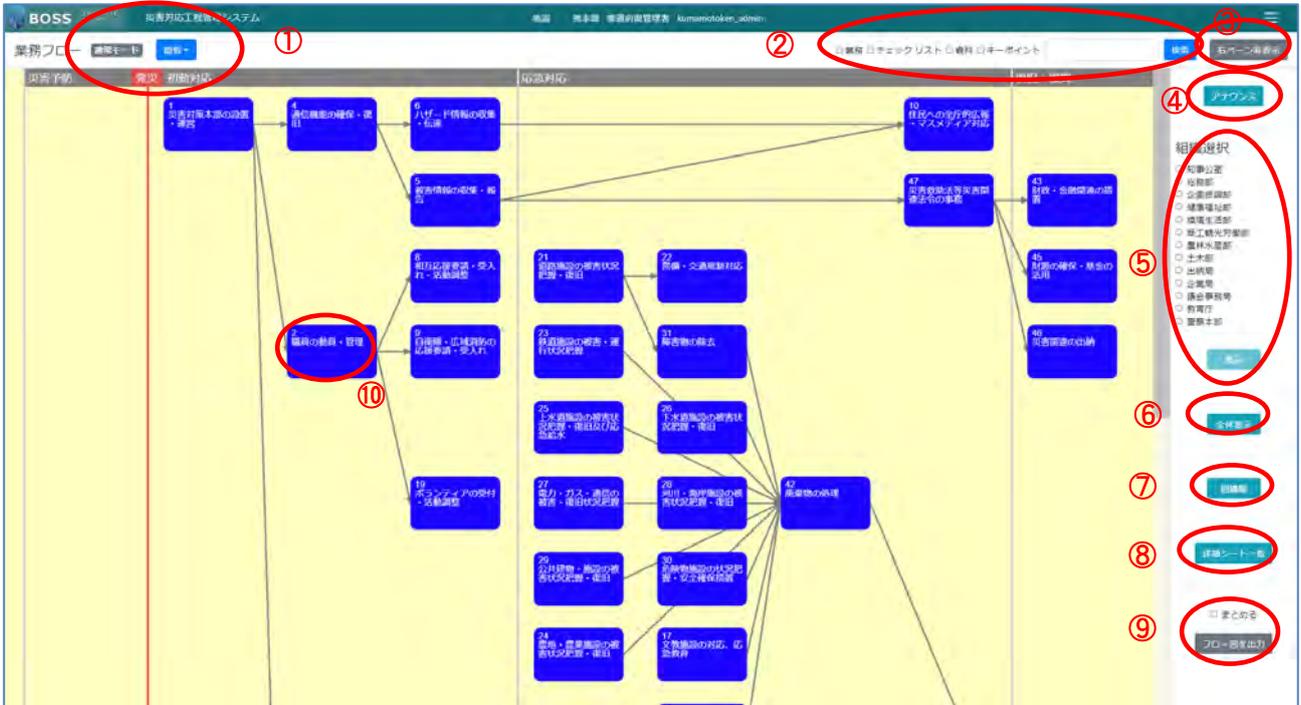
ID とパスワードを照会し、正しければシステムにログインします。

ID の所属情報を確認し、所属している自治体の業務フローを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.2 業務フロー

ログインすると、業務フロー画面を表示します。



また、講師ユーザーでログインした場合は、右ペーンに受講者検索欄が表示されます。



1.2.1 画面の説明

業務フロー画面の説明は以下の通りです。

① モード表示

現在の表示が、通常モードか、災害モードかを表示します。

取得したデータの中に災害モード中の災害が無い場合、もしくは選択した災害がサインイン中のユーザーの自治体に対して災害モード中でない場合、通常モードとして表

示されます。選択した災害がサインイン中のユーザーの自治体に対して災害モード中の場合は災害モードとして表示されます。

災害ごとのシステム モードの切り替えはシステム管理で行います。

閲覧モードか、編集モードかを表示します。クリックしプルダウンを選択することで、モードを切り替えることができます。サインイン中のユーザーの自治体に対して 1 つ以上災害モード中の災害がある場合は表示されず、閲覧モードとなり、編集モードに切り替えることはできません。

② 検索

検索対象を選択し、キーワードを入力後、「検索」ボタンをクリックします。検索対象から入力したキーワードで検索すると、検索結果画面で検索結果を表示します。

検索対象は、「業務」「地域防災計画」「チェックリスト」「資料」「キーポイント」から選択できます。複数選択も可能です。

③ 右ペーン非表示／右ペーン表示

右ペーンの表示／非表示を切り替えます。

④ アナウンス

アナウンス画面を表示します。

⑤ 組織選択

部署を選択し、「表示」ボタンをクリックします。

選択した部署が担当に含まれている中工程フローを全て表示します。

⑥ 全体表示

全ての業務についての中工程フローを表示します。

⑦ 組織順表示

組織ごとに担当している業務を表示します。

⑧ 詳細シート一覧

詳細シート一覧を表示します。

⑨ フロー図を出力

フローチャートを画像ファイルとして出力します。「まとめる」を選択しないとフローチャートが複数表示されている場合は個別のファイルとして出力されます。「まとめる」を選択すると、フローチャートが複数表示されている場合でも一つのファイルとして出力します。

⑩ 業務ボックス

業務フロー上で一つの業務をクリックし、その業務の中工程フローを表示します。

⑪ 受講者検索

フローを表示させたい受講者受講者名を空白区切りで OR 検索します。テキストボックスに検索内容を入力して検索ボタンを押すと、受講者業務フロー画面に遷移します。

1 BOSS の操作手順

1.2.2 編集モード



「編集」を切り替えます。

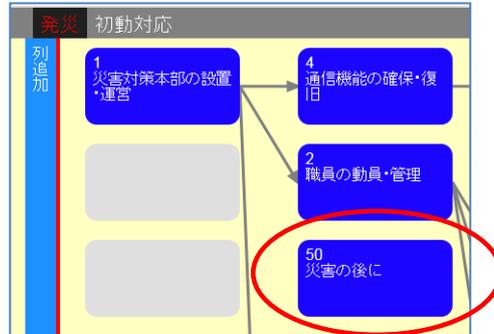
編集モードでは以下のように表示されます。



(1) 新規業務ボックスの配置

業務ボックスを配置するには、まず画面上のグレーのセルをクリックします。

クリックしたセルがオレンジで表示します(①)。その状態で右側の編集画面(②)で、業務番号、業務名称、略称を入力し、キーポイントが必要な場合は必要なだけキーポイントを追加・入力します。そして、右下の追加ボタンをクリックします。すると次の図のように新規ボックスが追加されます。



(2) 業務ボックスの編集

既に配置されているボックスを変更します。

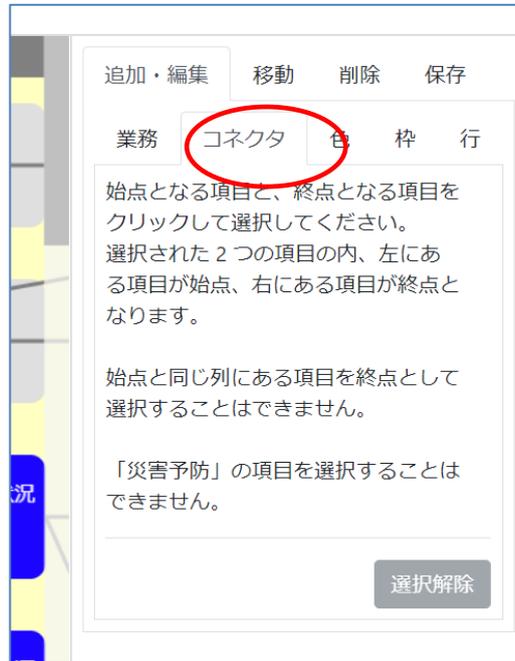
右側の編集画面で、「追加・編集」を選択します。



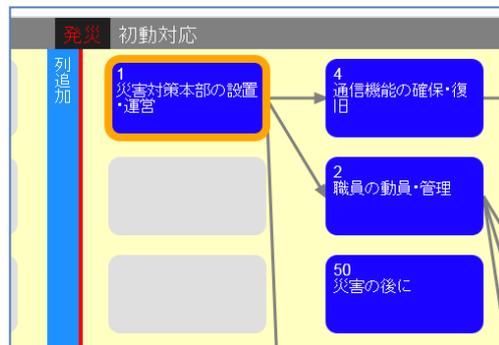
編集画面で内容を修正し、「一時保存」をクリックします。

(3) コネクタの接続

右の編集画面で、「追加・編集」>「コネクタ」タブをクリックします。



その状態で、接続するボックスの一方を選択します。



選択したボックスにオレンジの枠が付きます。

コネクタの向きは選択した順番によらず左側から右側へ接続されます。

(4) 業務ボックスの色変更

すでに配置されているボックスの色を変更します。

右側の編集画面で「追加・編集」>「色」を選択します。



その状態で色を変更したいボックスを選択します。複数選択することもできます。



ボックス選択後、右側の編集画面で色名ドロップダウンを変更すれば、変更した色がボックスに反映されます。

(5) 枠の追加

枠を新規追加します。

右側の編集画面で「追加・編集」>「枠」を選択します。



その状態で、枠の範囲の左上、右下、もしくは、左下、右上となるボックス、もしくは、セルをクリックします。一つのセルのみを選択することも可能です。

それから選択完了ボタンをクリックします。



そうすると、枠が表示されるので、見出しを入力して一時保存ボタンをクリックします。すると、見出しが反映されます。



(6) 枠の編集

枠の移動と見出しの編集をします。

右側の編集画面で、「追加・編集」>「枠」を選択します。



その状態で、既存の枠を選択します。すると、枠が選択状態になり、その枠の見出しが右側の編集画面に表示されます。

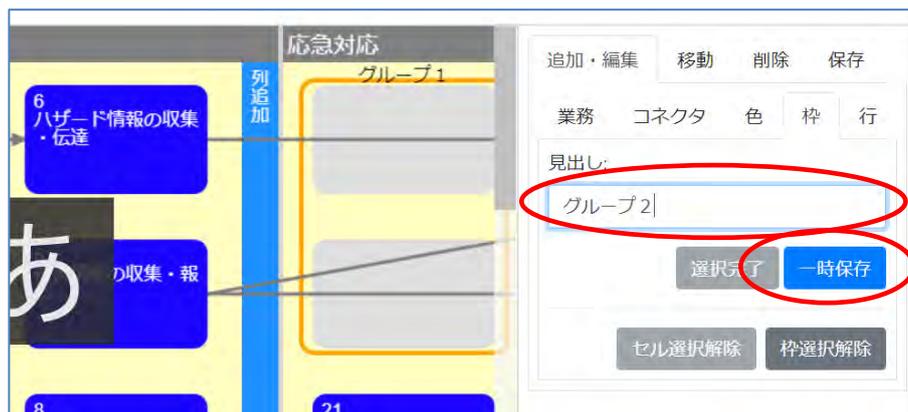


枠の位置を移動する場合は、作成した場合と同様に二点選択し、選択完了ボタンをクリックします。



1 BOSS の操作手順

すると枠が移動します。



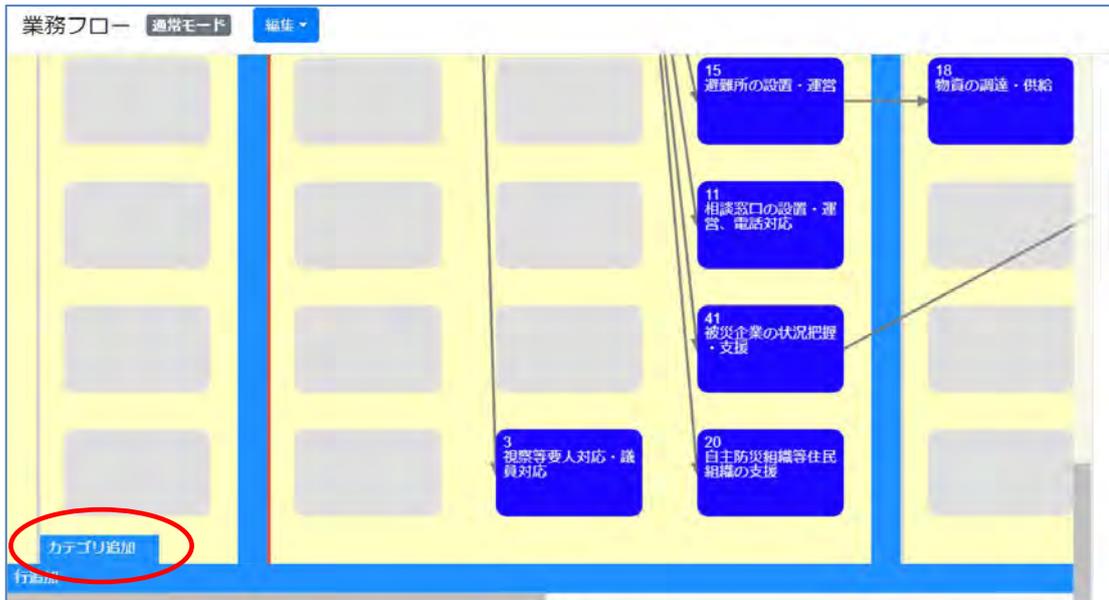
(7) カテゴリの追加

カテゴリを新規追加します。

右側の編集画面で「追加・編集」>「行」を選択します。



フローチャートの左下にある、カテゴリ追加ボタンで新規カテゴリを追加します。

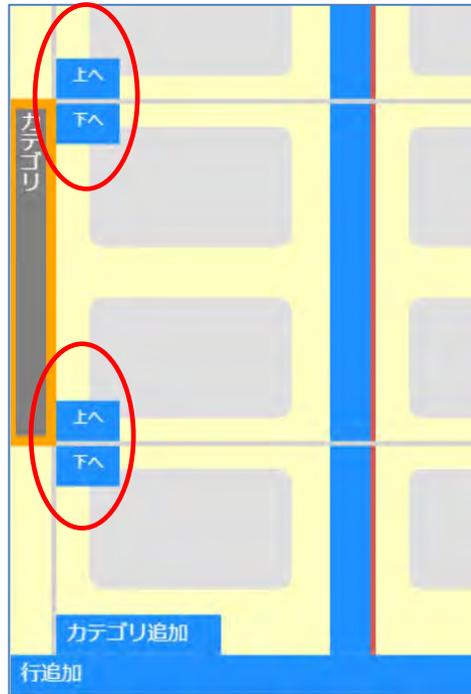


そうすると、最下行に新規カテゴリが追加されます。



1 BOSS の操作手順

カテゴリ上部左側とカテゴリ下部左側に表示される「上へ」「下へ」ボタンを利用して、カテゴリを配置したい位置まで動かします。



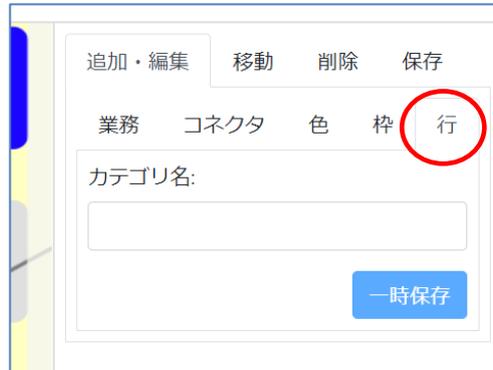
最後に右側の編集画面でカテゴリ名を入力して、「一時保存」ボタンをクリックすると反映されます。

A screenshot of the BOSS edit screen for a category. The screen has a white background with a blue border. At the top, there are four tabs: '追加・編集' (Add/Edit), '移動' (Move), '削除' (Delete), and '保存' (Save). Below the tabs, there are four buttons: '業務' (Business), 'コネクタ' (Connector), '色' (Color), and '枠' (Frame). A '行' (Row) button is also visible. The main area contains a text input field labeled 'カテゴリ名:' (Category Name) with the text 'カテゴリ' (Category) entered. Below the input field is a blue button labeled '一時保存' (Temporary Save).

(8) カテゴリの編集

カテゴリの編集をします。

右側の編集画面で、「追加・編集」>「行」を選択します。



その状態で、既存のカテゴリを選択します。すると、カテゴリが選択状態になり、そのカテゴリの名前が右側の編集画面に表示されます。

カテゴリの位置を変更する場合は、カテゴリ作成時と同様に操作します。

カテゴリ名を変更する場合も、カテゴリ作成時と同様に操作します。

(9) 業務ボックスの移動

既に配置しているボックスを別の位置に移動します。

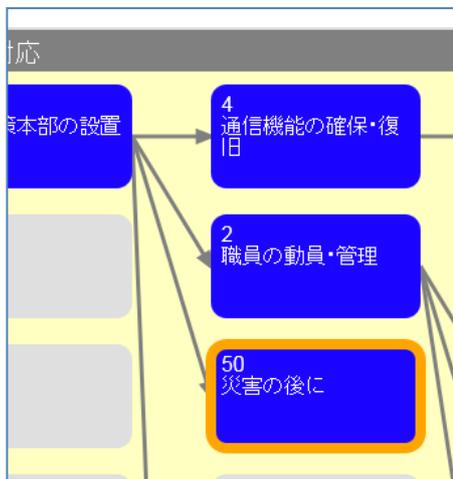
右側の編集画面で、「移動」を選択します。



1 BOSS の操作手順

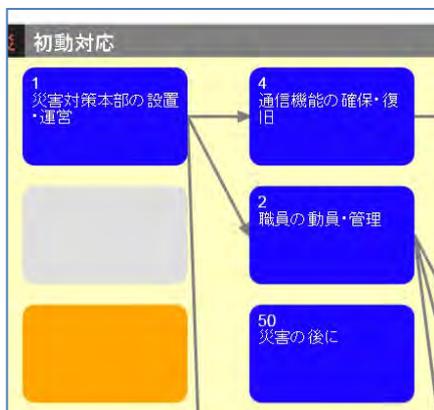
方法1:

ボックスを選択すると、選択したボックスにオレンジの枠が付きます。



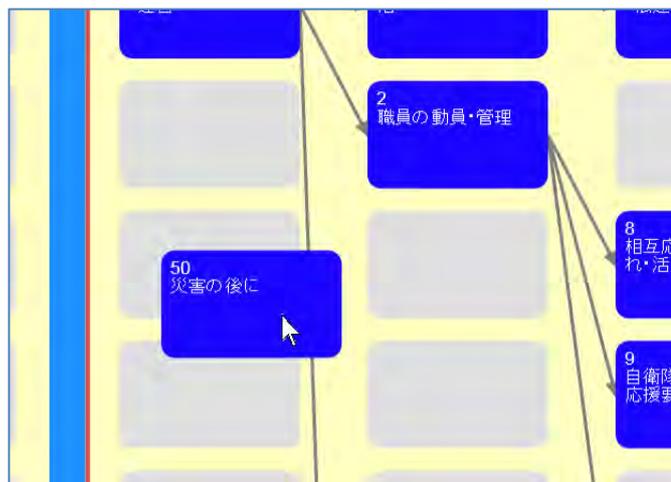
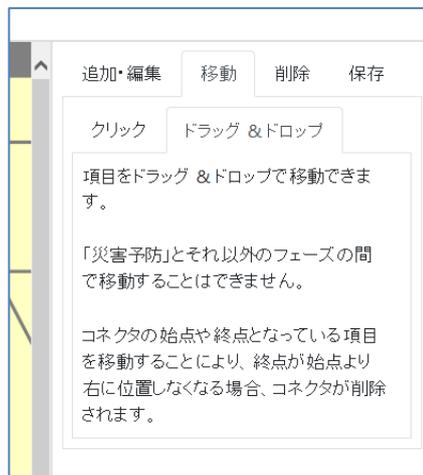
方法2:

グレーで表示されている移動先セルをクリックすると、クリックされた部分がオレンジになります。



方法3:

まず、「ドラッグ&ドロップ」タブを選択します。

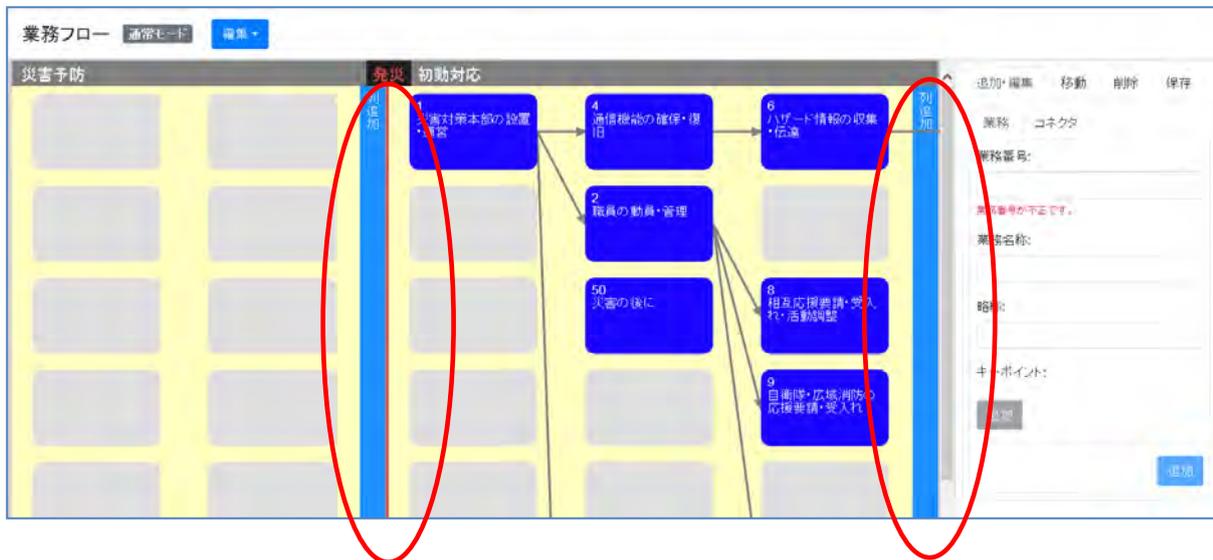


1 BOSS の操作手順

(10) 列・行の追加

列追加ボタン、行追加ボタンを押下すると、列・行が追加されます。

新規追加された列・行にボックスを配置しなかった場合、その列・行は保存時に削除されます。



(11) オブジェクトの削除

既に配置しているボックス、コネクタ、枠、カテゴリを削除します。

左側の編集画面で、「削除」を選択します。



この状態で削除したいオブジェクトを選択すると、選択されたオブジェクトがオレンジになります。「削除」をクリックすると、選択されたオブジェクトが削除されます。

(12) データの保存

編集モードで行った作業を最終的に保存します。

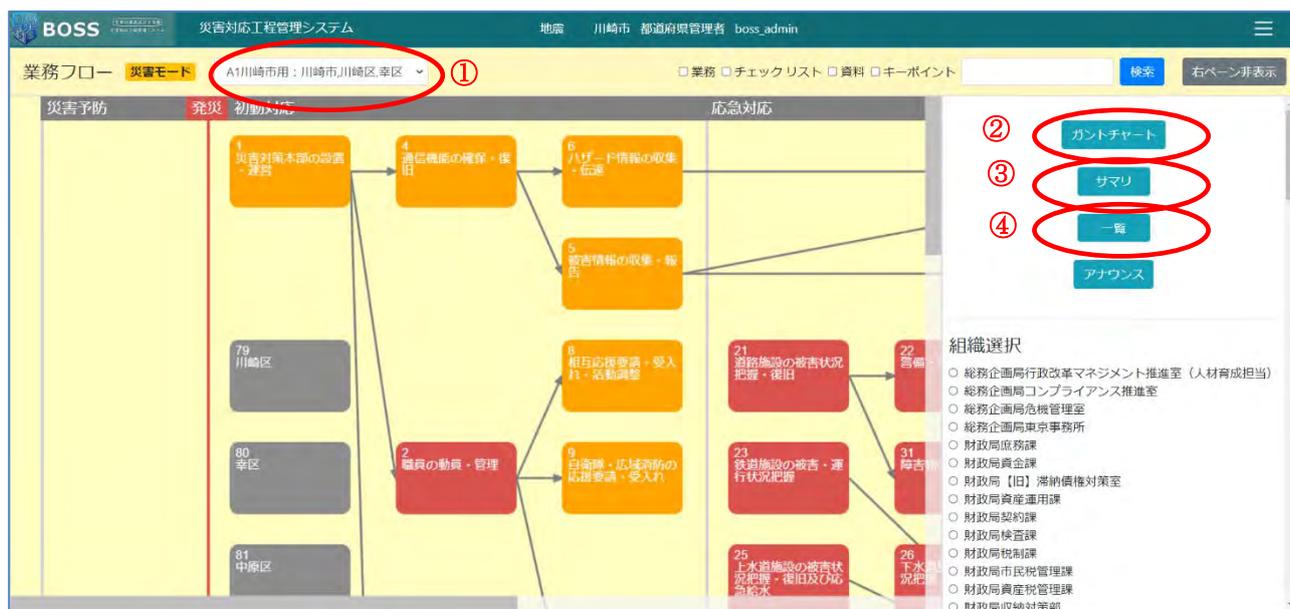
編集画面で「保存」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

1 BOSS の操作手順

1.3 業務フロー(災害モード)

取得したデータの中に災害モード中の災害が含まれている場合、災害選択 UI が表示されます。

選択された災害に対して災害モード中の自治体のデータは、災害モード中としての表示となります。



1.3.1 画面の説明

業務フロー(災害モード)については基本的に通常モードと同様の操作になります。1.2.1 画面の説明を参照してください。ただし、災害モードでは編集できません。また、通常モードでは表示されていなかった項目がいくつか表示されますので、以下で説明します。

①災害選択プルダウン

現在表示中の災害を表示します。ログインユーザの都道府県配下で複数の災害が災害モードである場合はそれら全部を表示し、切り替えることができます。

②ガントチャートリンク

全体ガントチャートへのリンクを表示します。

③サマリリンク

全体サマリへのリンクを表示します。

④一覧リンク(川崎向け機能)

全体一覧へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.3.2 全体ガントチャート

業務フロー(災害モード)からガントチャートリンクを押すと全体ガントチャートに遷移します。自治体ドロップダウンで選択した自治体の業務ごとのガントチャートを表示します。業務配下の各中工程のうち、一番早い開始から、最後の終了までのチャートを表示します。



① リンク

全体一覧(川崎向けの場合)、全体サマリ、業務フロー画面へのリンクを表示します。

② 自治体選択プルダウン

指定の災害に移行した自治体(通常モードに戻った自治体含む)を選択します。

③ スケール

ガントチャートのタイムスケールを 1,3,6,12 時間に切替えます。

④ ソート

ガントチャートを業務番号、開始日時、終了日時でソートします。

1 BOSS の操作手順

1.3.3 全体サマリ

業務フロー(災害モード)からサマリリンクを押すと全体サマリに遷移します。全体サマリでは自治体ドロップダウンで選択した自治体(もしくは、全て)の全てのステータス別の中工程の数を業務ごとに確認できます。また、川崎モードで全体サマリ(すべて)か全体サマリ(市区町村)を表示した場合は、上部に CF の進捗一覧が表示されます。

全体サマリ(都道府県)



業務番号	業務名称	ステータス			
		合計	開始	終了	継続
1	災害対策本部の設置・運営	10	0	5	1
2	職員の動員・管理	20	0	0	0
3	視察等要人対応・議員対応	3	0	0	3
4	通信機能の確保・復旧	6	3	2	1
5	被害情報の収集・報告	10	3	2	5
6	ハザード情報の収集・伝達	10	1	1	1
7	避難勧告の発令・伝達・避難支援	7	0	0	2
8	相互応援要請・受入れ・活動調整	15	1	1	2
9	自衛隊・広域消防の応援要請・受入れ	12	1	1	0
10	住民への全庁的広報・マスメディア対応	9	0	0	0
11	相談窓口の設置・運営、電話対応	5	0	5	0

① リンク

全体サマリ、全体一覧(川崎向けの場合)、業務フロー画面へのリンクを表示します。

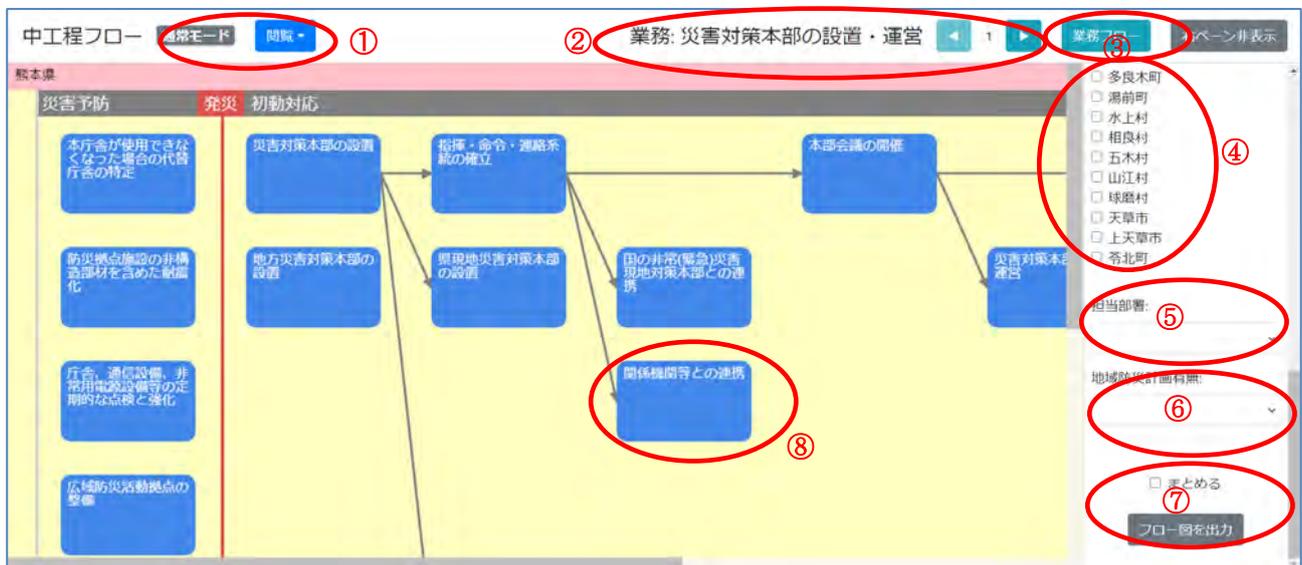
②自治体選択プルダウン

指定の災害に移行した自治体(通常モードに戻った自治体含む)を選択します。「すべて」を選択した場合は、指定の災害に移行した全都道府県/市区町村の集計値を表示します。

1 BOSS の操作手順

1.4 中工程フロー

業務フローで一つの業務をクリックし、中工程フロー画面を表示します。



1.4.1 画面の説明

中工程フロー画面の説明は以下の通りです。

①モード表示

現在の表示が、通常モードか、災害モードかを表示します。

取得したデータの中に災害モード中の災害が無い場合、もしくは選択した災害がサインイン中のユーザーの自治体に対して災害モード中でない場合、通常モードとして表示されます。選択した災害がサインイン中のユーザーの自治体に対して災害モード中の場合は災害モードとして表示されます。

災害ごとのシステム モードの切り替えはシステム管理で行います。

閲覧モードか、編集モードかを表示します。クリックしプルダウンを選択することで、モードを切り替えることができます。サインイン中のユーザーの自治体に対して 1 つ以上災害モード中の災害がある場合は表示されず、閲覧モードとなり、編集モードに切り替えることはできません。

②業務情報、前へ、次へ

業務名と業務番号を表示します。

また、前へ、次へボタンで業務番号に基づいて前後の業務へ遷移することができます。

③業務フローボタン

業務フロー画面に戻ります。

④表示切替(表示範囲)

表示する自治体を選択して、上の「表示」ボタンをクリックすると表示されます。

⑤表示切替(担当部署)

所属している自治体の部署を選択できます。選択された部署が担当するボックスが強調表示されます。

⑥表示切替(地域防災計画)

地域防災計画の有無を選択できます。地域防災計画が設定されているフローが強調表示されます。

⑦フロー図を出力

フローチャートを画像ファイルとして出力します。「まとめる」を選択しないとフローチャートが複数表示されている場合は個別のファイルとして出力されます。「まとめる」を選択すると、フローチャートが複数表示されている場合でも一つのファイルとして出力します。

⑧中工程ボックス

中工程フロー上で一つの中工程ボックスをクリックし、その中工程の業務詳細シートを表示します。

右ペーン非表示／表示ボタンと、フロー図を出力ボタンは業務フローと同様の動きになります。1.2.1 画面の説明を参照してください。

1.4.2 編集モード

編集モードについては基本的に業務フローと同様の操作になります。

1.2.2 編集モードを参照してください。

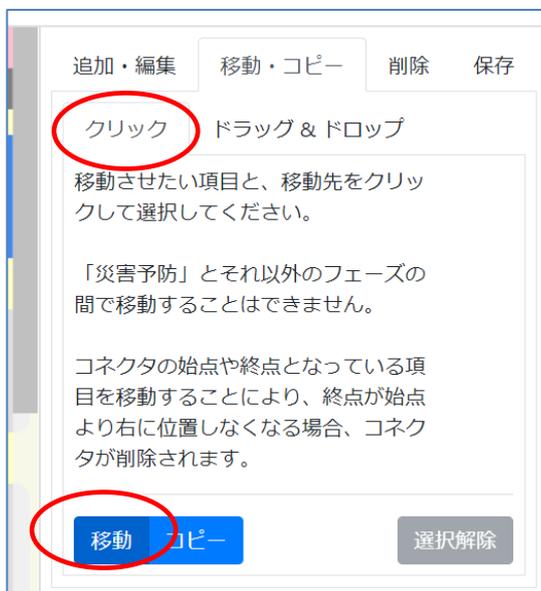
なお、中工程フローでは業務フローの「移動」タブの代わりに「移動・コピー」タブがあります。以下で使い方を説明します。

(1) 中工程ボックスの移動

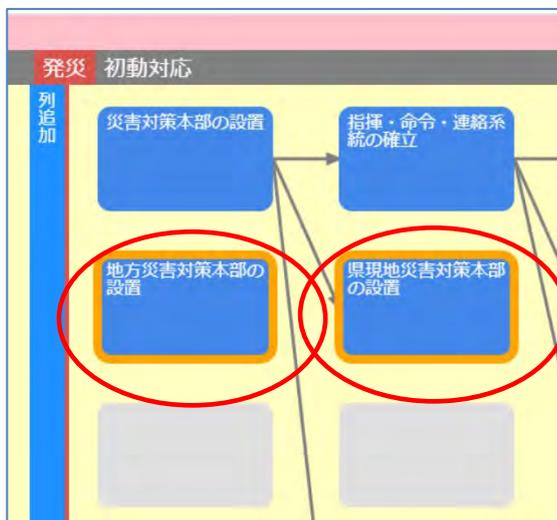
すでに配置している中工程ボックスを移動します。

右側の編集画面で「移動・コピー」>「クリック」を選択します。

編集画面の左下の「移動」/「コピー」選択ボタンでは「移動」が選択されている必要があります。



移動したいボックスを選択します。複数選択可能です。



その後移動先のセル(複数選択した場合は、一番右側の一番上に対応するセル)を選択すると、そのセルに移動します。複数選択した場合で、移動できないセルを選択した場合は、移動されません。



中工程ボックスのコピー

すでに配置している中工程ボックスをコピーします。

操作方法については、(1)中工程ボックスの移動と同じです。

ただし、「移動」／「コピー」選択ボタンでは「コピー」が選択されている必要があります。

1 BOSS の操作手順

(3) クリティカルフロー作成(川崎向け機能)

市区町村もしくは部署(避難所)で共通する中工程として、クリティカルフローを作成できます。クリティカルフローは都道府県管理者のみ作成・編集が可能です。市区町村の中工程フロー内で作成・編集します。

空のセルを選択します。

右側の編集画面で「追加・編集」>「中工程名称」を選択します。

クリティカルフローの中工程名称を入力します。



市区町村で共通するクリティカルフローを作成する場合は、「クリティカルフロー「区」追加」を押下します。部署(避難所)で共通するクリティカルフローを作成する場合は、「クリティカルフロー「避難所」追加」を押下します。



最下行に 1 行追加し、クリティカルフローが追加されます。

1 BOSS の操作手順

The screenshot displays the BOSS (Disaster Response Engineering Management System) interface. At the top, the header includes the BOSS logo, the system name '災害対応工程管理システム', and user information: '風水害 川崎市 都道府県管理者 boss_admin'. Below the header, the main area is titled '中工程フロー 通常モード' (Intermediate Process Flow Normal Mode) and is set to '川崎区' (Kawasaki City). The interface is divided into three main columns: '準備体制' (Preparation System), '警戒体制' (Alert System), and '災害対策本部' (Disaster Response Headquarters). A '情報' (Information) sidebar on the left lists various tasks such as '風水害危険区域の把握と見直し' (Understanding and re-evaluation of flood hazard areas) and 'ハザード情報の把握体制整備' (Establishment of hazard information understanding system). The main workflow area contains a grid of blue boxes representing tasks, with arrows indicating the flow of information and actions. Key tasks include 'ハザード情報の収集・分析' (Collection and analysis of hazard information), '行内・関係機関との情報共有 (事前対応)' (Information sharing within the organization and related agencies (pre-response)), and '台風に伴う地域のハザード情報の収集・伝達 (事前対応)' (Collection and transmission of hazard information in the area accompanying typhoons (pre-response)). A right-hand panel provides controls for '追加・編集' (Add/Edit), '移動・コピー' (Move/Copy), '削除' (Delete), and '保存' (Save), along with a search field for '中工程名称' (Intermediate process name) and a '絞り' (Filter) button.

1 BOSS の操作手順

1.5 中工程フロー(災害モード)

取得したデータの中に災害モード中の災害が含まれている場合、災害選択 UI が表示されます。

選択された災害に対して災害モード中の自治体のデータは、災害モード中としての表示となります。



1 BOSS の操作手順

1.5.1 画面の説明

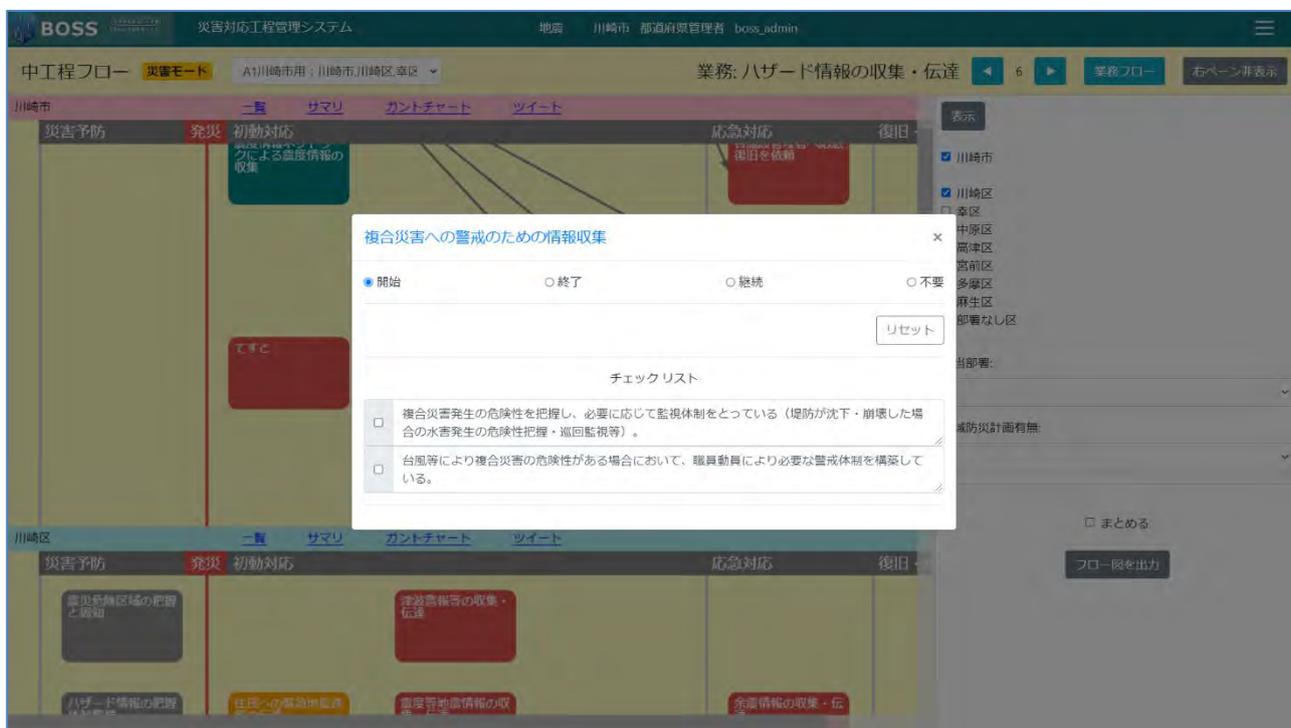
中工程フロー(災害モード)の基本的な操作は通常モードと同様となります。1.4.1 画面の説明を参照してください。ただし、災害モードでは編集できません。それ以外の通常モードとの違いは以下になります。

① 中工程フロー

中工程フロー上で一つの中工程ボックスをクリックし、その中工程のステータスとチェックリストを表示します。

クリックした中工程が、所属している自治体のものである場合には、ステータスの変更、チェックリストのチェック / チェック解除ができます。

また、中工程名のリンクをクリックすることで、業務詳細シートに遷移することができます。



災害選択プルダウン

現在表示中の災害を表示します。ログインユーザの都道府県配下で複数の災害が災害モードである場合はそれら全部を表示し、切り替えることができます。

③ 一覧(都道府県単位)リンク(川崎市向け機能)

一覧(都道府県単位)へのリンクを表示します。

④ 一覧(市区町村単位)リンク(川崎市向け機能)

一覧(市区町村単位)へのリンクを表示します。

⑤ サマリ(都道府県単位)リンク

サマリ(都道府県単位)へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

⑥ サマリ(市区町村単位)リンク

サマリ(市区町村単位)へのリンクを表示します。

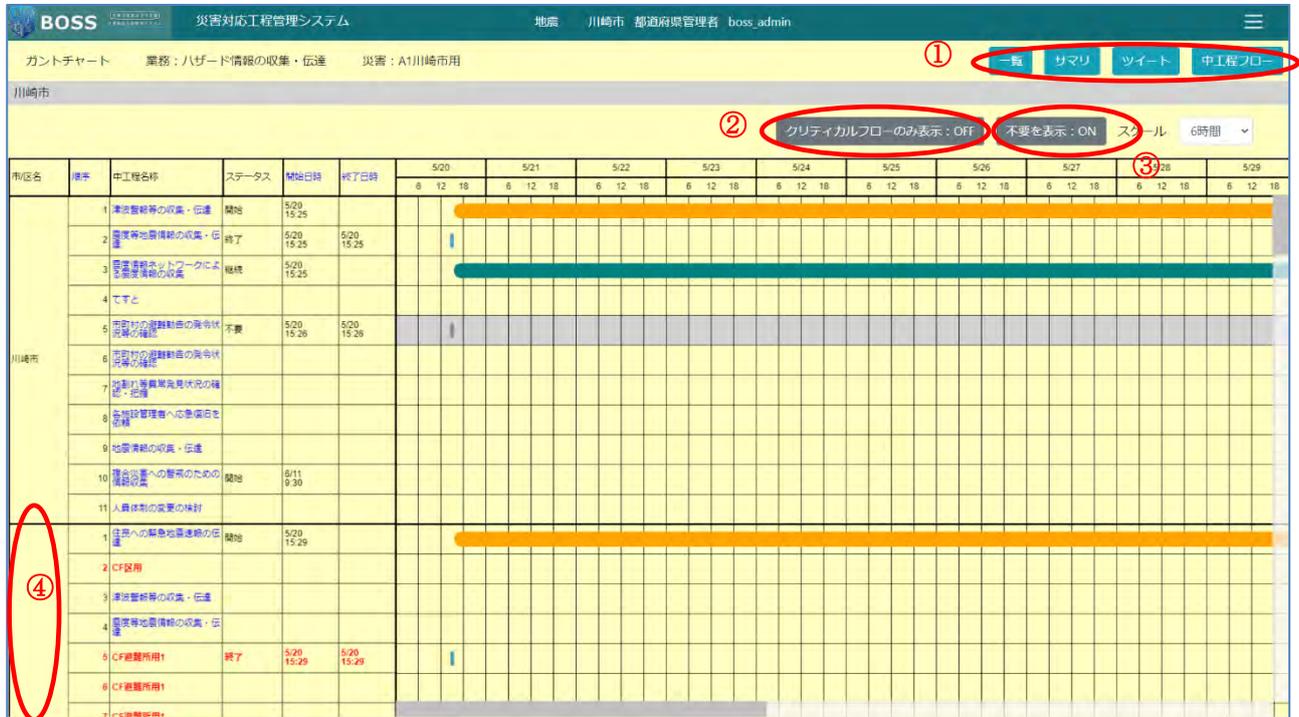
⑦ ガントチャート(都道府県単位)リンク

ガントチャート(都道府県単位)へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.5.2 ガントチャート(都道府県単位)

中工程フロー(災害モード)からガントチャート(都道府県単位)リンクを押すとガントチャートに遷移します。指定した災害に移行した自治体の中工程のステータスをガントチャートで表示します。



ガントチャート(都道府県単位)については基本的に全体ガントチャートと同様の操作になります。1.3.2 全体ガントチャートを参照してください。

① リンク

サマリ(都道府県単位)、一覧(都道府県単位)(川崎向けの場合)、ツイート、中工程フロー画面へのリンクを表示します。

② クリティカルフローのみ表示(川崎市向け機能)

クリティカルフローのみを表示する/しないを切替えます。

③ 不要を表示

ステータス「不要」の中工程フローを表示する/しないを切替えます。

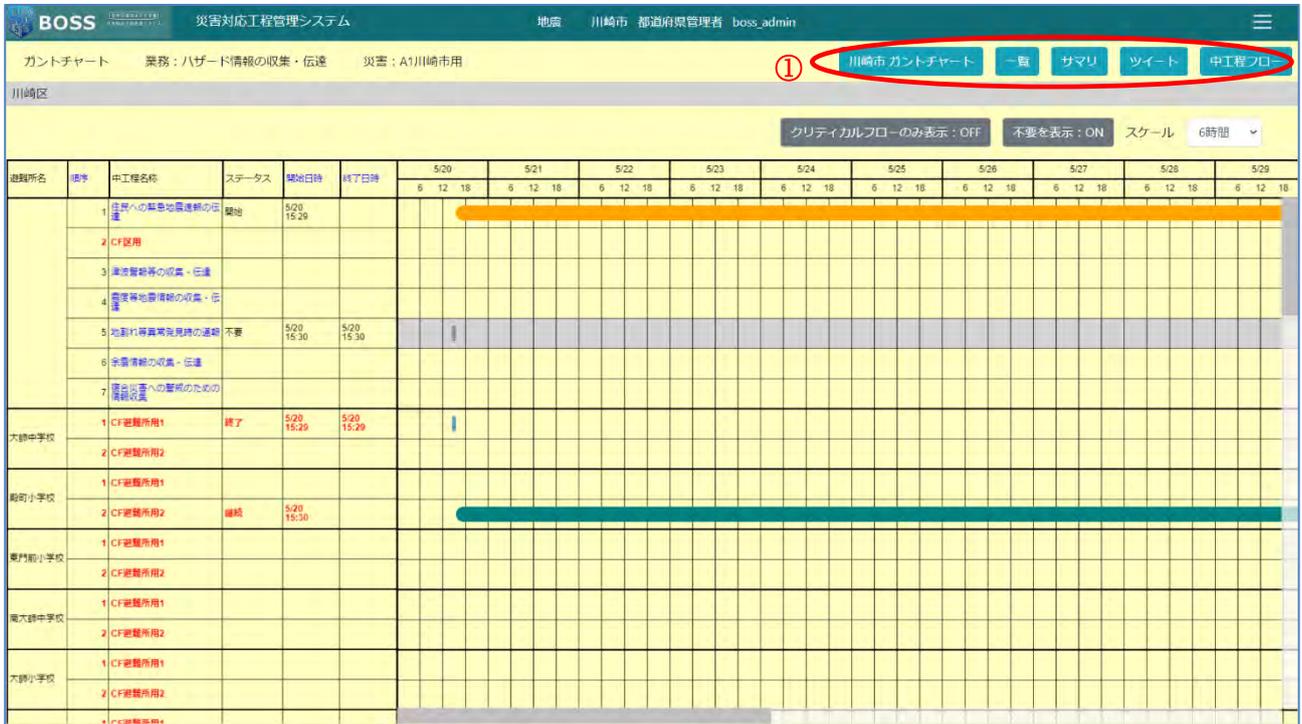
④ 市区町村リンク(川崎向け機能)

ガントチャート(市区町村単位)へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.5.3 ガントチャート(市区町村単位)

中工程フロー(災害モード)からガントチャート(市区町村単位)リンクを押すとガントチャートに遷移します。指定した災害に移行した遷移元自治体の中工程のステータスをガントチャートで表示します。



ガントチャート(市区町村単位)については基本的に全体ガントチャートと同様の操作になります。1.3.2 全体ガントチャートを参照してください。

① リンク

都道府県ガントチャート、サマリ(市区町村単位)、一覧(市区町村単位)(川崎向けの場合)、ツイート、中工程フロー画面へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.5.4 サマリ(都道府県単位)

中工程フロー(災害モード)からサマリ(都道府県単位)リンクを押すとサマリに遷移します。指定した災害に移行した自治体の中工程のステータスを集計、表示します。

都道府県 / 市区町村名	合計	開始	終了	継続
熊本県	5	1	2	0
西原村	4	0	0	0
西原町	4	0	0	0

① リンク

ガントチャート(都道府県単位)、一覧(都道府県単位)(川崎向けの場合)、ツイート、中工程フロー画面へのリンクを表示します。

② 市区町村リンク(川崎向け機能)

サマリ(市区町村単位)へのリンクを表示します。

1.5.5 サマリ(市区町村単位)

中工程フロー中工程フロー(災害モード)からサマリ(市区町村単位)リンクを押すとサマリに遷移します。指定した災害に移行した遷移元自治体の中工程のステータスを集計、表示します。川崎向けの場合は上部にクリティカルフローの進捗テーブルが表示されます。

1 BOSS の操作手順

CF避難所用1		CF避難所用2						
川崎市	67%	9%	18%	6%	71%	10%	3%	16%

ステータス				
区 / 避難所名	合計	開始	終了	継続
川崎市	6	1	0	0
大師中学校	2	0	1	0
殿町小学校	2	0	0	1
東門前小学校	2	0	0	0
南大師中学校	2	0	0	0
大師小学校	2	0	0	0
四谷小学校	2	0	0	0
川中島中学校	2	0	0	0
川中島小学校	2	0	0	0
藤崎小学校	2	0	0	0
桜本中学校	2	0	0	0
さくら小学校	2	0	0	0

① リンク

都道府県サマリ、ガントチャート(市区町村単位)、一覧(市区町村単位)(川崎向けの場合)、ツイート、中工程フロー画面へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.5.6 ツイート

中工程フロー(災害モード)からツイートリンクを押すとツイートに遷移します。指定した災害に移行した自治体の中工程のツイートを一覧表示します。



The screenshot shows the BOSS (Disaster Response Engineering Management System) interface. At the top, there is a navigation bar with the BOSS logo, the system name, and the user's role (都道府県管理者 boss_admin). Below the navigation bar, there are several tabs: ツイート, 業務: ハザード情報の収集・伝達, and 災害: A1川崎市用. A red circle highlights a link icon (①) next to the 'ツイート' tab. To the right of the link icon, there are four buttons: 一覧, サマリ, ガントチャート, and 中工程フロー. Below the navigation bar, there is a table with columns: 市/区名, 中工程名称, ステータス, and 内容. The table contains several rows of data, including entries for 川崎市 and 幸区.

市/区名	中工程名称	ステータス	内容
川崎市	津波警報等の収集・伝達	継続	気象庁発表の震度・津波に関する情報、震度情報ネットワークによる情報を、各種手段を通じて伝達する。気象庁発表の震度・津波に関する情報、震度情報ネットワークによる情報を、各種手段
川崎市	津波警報等の収集・伝達	継続	追加レスポンス
幸区	CF避難所用2	不要	A1幸区不要ついと
幸区	CF避難所用1	継続	A1幸区継続ついと
幸区	震度等地震情報の収集・伝達	終了	A1幸区終了ついと
幸区	地割れ等異常発見時の通報	開始	A1幸区開始ついと
川崎区	住民への緊急地震速報への	不要	A1川崎区開始ついと

① リンク

ガントチャート(都道府県単位)、サマリ(都道府県単位)、一覧(都道府県単位)(川崎向けの場合)、中工程フロー画面へのリンクを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.6 業務詳細シート

中工程フローで中工程ボックスを選択し、業務詳細シートを表示します。

業務詳細シート 通常モード 閲覧

都道府県 熊本県
業務名称 災害対策本部の設置・運営
中工程名称 災害対策本部の設置

業務概要: 震度6以上の地震発生時及び特別警報が発表された場合は、県防災センターに県災本部を設置（自動設置）する。

目標実施時期: 初動対応

担当部署: 知事公室

実施方法と留意事項:

チェックリスト: 本部の通信設備・O A機器の確保等、災害対策本部の執務体制を確立した。 重要度: 中
職員幹事メールの受信を確認（震度6以上の場合） 重要度: 中

地域防災計画:

関係資料: 防災センター配備図（通常配備） マニュアル 公開
防災センター配備図（大規模災害時） マニュアル 公開
（報道資料）第4回災害対策本部会議開催 マニュアル 公開
本部常行動マニュアル1.0（防災情報共有システム使用版） マニュアル 公開
（訓練）防災センター配備図 マニュアル 公開

1.6.1 画面の説明

業務詳細シートの説明は以下の通りです。

①モード表示

現在の表示が、通常モードか、災害モードかを表示します。

取得したデータの中に災害モード中の災害が無い場合、もしくは選択した災害がサインイン中のユーザーの自治体に対して災害モード中でない場合、通常モードとして表示されます。選択した災害がサインイン中のユーザーの自治体に対して災害モード中の場合は災害モードとして表示されます。

災害ごとのシステム モードの切り替えはシステム管理で行います。

閲覧モードか、編集モードかを表示します。クリックしプルダウンを選択することで、モードを切り替えることができます。サインイン中のユーザーの自治体に対して1つ以上災害モード中の災害がある場合は表示されず、閲覧モードとなり、編集モードに切り替えることはできません。

②中工程フローリンク

中工程フロー画面へ戻ります。

③業務フローリンク

業務フロー画面へ戻ります。

1 BOSS の操作手順

1.6.2 編集モード

モード切替用のタブ(①)を使い、「閲覧/編集」を切り替えます。

業務詳細シート **閲覧モード** **編集**

都道府県: 熊本県
業務名称: 災害対策本部の設置・運営
中工程名称: 災害対策本部の設置

業務概要: 震度6弱以上の地震発生時及び特別警報が発表された場合は、県防災センターに県災対本部を設置(自動設置)する。

目標実施時期: 初動対応

担当部署: 知事公室
総務部
企画監理部
健康福祉部

実施方法と留意事項:

チェックリスト:
本部の通信設備・OA機器の確保等、災害対策本部の執務体制を確立した。 重要度: 中 [削除]
職員参集メールの受信を確認(震度6弱以上の場合) 重要度: 中 [削除]

地域防災計画(ページ番号): [追加]

関係資料:
マニュアル | タイトル: 防災センター配置回(通常配置) | [ファイル選択] | 公開 | [削除]
ファイル | タイトル: 防災センター配置回(大規模災害時) | [ファイル選択] | 公開 | [削除]

1.6.3 地域防災計画とのリンク

チェックリスト: 震度や被害が大きい場所との通信状況を確認を実施している。 重要度: 中

地域防災計画: [第1章 総則 第2節 計画の性格及び基本方針 2. 計画の基本方針](#)

第3章 災害応急対策計画 第18節 生活必需品供給計画(県健康福祉部 県商工観光労働部 県福祉生活部) 2. 生活必需品の確保

関係資料: マニュアル | [マニュアル]

指定した中工程について、地域防災計画に記述されている場合は、業務詳細シート下部に地域防災計画へのリンクを表示します。

クリックすることで地域防災計画の内容を確認することができます。

また PDF マークをクリックすることで、実際の地域防災計画の PDF ファイルを表示します。

1 BOSS の操作手順

1.6.4 関係資料～その他のリンク



指定した中工程に関連資料、関連システム、過去の対応資料などが紐付けられている場合は、リンクが表示されます。

それらのクリックすることで閲覧、もしくは、ダウンロードをすることができます。

1 BOSS の操作手順

1.7 業務詳細シート(災害モード)

取得したデータの中に災害モード中の災害が含まれている場合、災害選択 UI が表示されます。

選択された災害に対して災害モード中の自治体のデータは、災害モード中としての表示となります。



1.7.1 画面の説明

詳細シート(災害モード)の基本的な操作は通常モードと同様です。1.6.1 画面の説明を参照してください。

ただし、災害モードでは編集できません。また、通常モードとの違いは以下になります。

① ステータス ラジオ ボタン

中工程の現在のステータスを表示します。所属している自治体のステータスを変更できます。リセット ボタンを押下するとステータスとチェックリストの状態が初期化されます。

② チェックリスト

中工程の現在のステータスが「開始」の時に表示されます。所属している自治体のチェックリストをチェック/チェック解除でき、チェックするとその日時が記録されます。

③ ツイート

表示されている中工程に対するツイートを閲覧、追加、修正、削除ができます。

1 BOSS の操作手順

1.8 検索結果

業務フローで検索した検索結果を表示します。

検索結果 通常モード 業務フロー

重要度: すべて

業務

業務番号	業務名称	略称
4	通信機能の確保・復旧	通信確保

中工程

中工程名称	都道府県 / 市区町村名	概要
通信機能の統制・管理・運用	熊本県	通信設備の被害状況を確認し、九州総合通信局に連絡する。また、代替手段の確保や、状況に応じて非常通信を行う。
避難路の整備及び指定	熊本県	指定緊急避難場所等を通じ、避難者の迅速かつ安全な避難行動を確保するために必要な構造を有する道路、緑地又は緑道の整備及び案内標識、誘導標識等の整備に努める。また、避難路の機能確保と併せ、災害時の避難所及びその他の防災拠点（物資輸送拠点、情報発信拠点等）の役割を担う道の駅についても、その機能強化に向けた整備に取り組む。
交通安全施設の防災機能の強化	熊本県	緊急交通路として確保すべき道路への交通信号機用非常用電源装置の設置、耐震性に優れた鋼鉄製柱への更新、軽量で節電効果のあるLED式信号灯器への更新などの災害に備えた交通安全施設の整備を図る。

ツイート

中工程名称	都道府県 / 市区町村名	内容	投稿者	投稿日時
-------	--------------	----	-----	------

チェックリスト

業務番号	中工程名称	都道府県 / 市区町村名	項目	重要度
------	-------	--------------	----	-----

資料

中工程名称	種別	タイトル
-------	----	------

キーポイント

業務名称	テキスト
------	------

画面の説明

業務フロー画面で「業務」を選択して検索した場合は、「業務」「中工程」「ツイート」の検索結果を表示します。

「チェックリスト」を選択して検索した場合は、「チェックリスト」の検索結果を表示します。この場合は、右上に重要度ドロップダウンが表示され、表示するチェックリストを重要度によってフィルターすることができます。

「資料」を選択して検索した場合は「資料」の検索結果を表示します。

「キーポイント」を選択して検索した場合は「キーポイント」の検索結果を表示します。

1 BOSS の操作手順

1.9 詳細シート一覧

ログイン ユーザーの属する自治体のすべての業務詳細シートの特定の情報を一覧で閲覧・編集できます。



1.9.1 画面の説明

「地域防災計画(ページ番号)」、「業務概要」、「実施方法と留意事項」を画面上で編集可能です。

また、CSV としてエクスポート・インポートできる項目として、「担当部署・地域防災計画 PDF ページ番号・業務概要・実施方法と留意事項」「資料」「チェックリスト」の 3 種類があります。

1.9.2 CSV エクスポート・インポート機能

CSV としてエクスポート・インポートできる項目として、「担当部署・地域防災計画 PDF ページ番号・業務概要・実施方法と留意事項」(別名:その他)「資料」「チェックリスト」の 3 種類があります。エクスポート時には出力範囲を選択でき、「すべて」を選択するとすべての業務に対して出力され、業務を選択すると選択した業務に対して出力できます。以下でそれぞれの CSV のエクスポート・インポート内容について説明します。

(1) 担当部署・地域防災計画 PDF 番号・業務概要・実施方法と留意事項(その他)

この CSV を出力した場合、出力される項目は以下になります。

表 1 その他 CSV エクスポート

列番号	列名	備考
1	業務番号	
2	業務名称	
3	中工程 ID	
4	中工程名称	
5	担当部署	複数存在する場合には、担当部署名が “;” 区切りで出力されます。
6	対応時期	
7	地域防災計画 (ページ番号)	複数存在する場合には、ページ番号が “;” 区切りで表示されます。
8	業務概要	
9	実施方法と留意 事項	
10	関係資料	複数存在する場合は、“;” 区切りで出力されます。
11	関連システム	複数存在する場合は、“;” 区切りで出力されます。
12	過去の対応資料	複数存在する場合は、“;” 区切りで出力されます。
13	その他	複数存在する場合は、“;” 区切りで出力されます。

また、インポートに利用する CSV の基本的な構造については、エクスポートされる CSV と同じになります。他の種類の CSV インポートについては、インポートした項目が新規追加されますが、この CSV インポートについては中工程 ID をキーに中工程に関する情報がアップデートされます。

表 2 その他 CSV インポート

列番号	列名	備考
1	業務番号	アップデートされません。(ヘッダー行かどうかの判別のため、正の整数が入力されている必要があります。)
2	業務名称	アップデートされません。
3	中工程 ID	この項目をキーに中工程情報がアップデートされます。
4	中工程名称	アップデートされません。
5	担当部署	担当部署を “;” 区切りで入力しておく、CSV の記載内容でアップデートされます。
6	対応時期	アップデートされません。
7	地域防災計画 (ページ番号)	ページ番号を “;” 区切りで入力しておく、CSV の記載内容でアップデートされます。
8	業務概要	CSV の記載内容でアップデートされません。
9	実施方法と留意 事項	CSV の記載内容でアップデートされません。
10	関係資料	アップデートされません。
11	関連システム	アップデートされません。
12	過去の対応資料	アップデートされません。
13	その他	アップデートされません。

(2) 資料

この CSV を出力した場合、出力される項目は以下になります。中工程に資料が複数紐づく場合は資料の数だけ行が出力され、中工程に資料が一つも紐づけられていない場合も資料種別 ID 以降が空で 1 行出力されます。

表 3 資料 CSV エクスポート

列番号	列名	備考
1	業務番号	
2	業務名称	
3	中工程 ID	
4	中工程名称	中工程に資料が一つも紐づかない場合もここまで出力され、これ以降の列は空となります。
5	資料種別 ID	資料種別 ID が 1~4 の整数値で出力されます。
6	関係資料 ID	必要帳票・マニュアル種別 ID が 1~5 の整数値で出力されます。
7	資料用ファイル ID	
8	公開	公開か非公開かが 0 か 1 で出力されます。
9	URL	
10	タイトル	

また、インポートに利用する CSV の基本的な構造については、エクスポートされる CSV と同じになります。この CSV では資料種別 ID が空の行は無視され、資料種別 ID が含まれている列には、新規資料として中工程情報に登録されます。そのため、エクスポートした資料 CSV を書き換えてインポートした場合、既存の資料がアップデートされるのではなく、インポート CSV に含まれていた資料情報がすべて新規資料として追加されます。

表 4 資料 CSV インポート

列番号	列名	備考
1	業務番号	アップデートされません。(ヘッダー行かどうかの判別のため、正の整数が入力されている必要があります。)
2	業務名称	アップデートされません。
3	中工程 ID	この項目をキーに中工程情報がアップデートされます。
4	中工程名称	アップデートされません。
5	資料種別 ID	この項目が含まれている行を新規資料として中工程情報に追加します。1~4 の整数値が記載されている

1 BOSS の操作手順

		必要があります。
6	関係資料 ID	資料種別 ID が 1 の場合に必須です。1~5 の整数値が記載されている必要があります。
7	資料用ファイル ID	この値と URL を両方含めるとエラーになります。ログインユーザの自治体に紐づく資料用ファイル ID を指定する必要があります。
8	公開	公開か非公開を 0 か 1 で記載する必要があります。
9	URL	この値と資料用ファイル ID を両方含めるとエラーになります。
10	タイトル	

(3) チェックリスト

この CSV を出力した場合、出力される項目は以下になります。中工程にチェックリストが複数紐づく場合はチェックリストの数だけ行が出力され、中工程にチェックリストが一つも紐づけられていない場合も資料種別 ID 以降が空で 1 行出力されます。

表 5 チェックリスト CSV エクスポート

列番号	列名	備考
1	業務番号	
2	業務名称	
3	中工程 ID	
4	中工程名称	中工程に資料が一つも紐づかない場合もここまで出力され、これ以降の列は空となります。
5	チェックリスト	
6	重要度	重要度が 1~3 の整数値で出力されます。

また、インポートに利用する CSV の基本的な構造については、エクスポートされる CSV と同じになります。この CSV ではチェックリストが空の行は無視され、チェックリストが含まれている行は新規チェックリストとして中工程情報に登録されます。そのため、エクスポートしたチェックリスト CSV を書き換えてインポートした場合、既存のチェックリストがアップデートされるのではなく、インポート CSV に含まれていたチェックリスト情報がすべて新規チェックリストとして追加されます。

表 6 チェックリスト CSV インポート

列番号	列名	備考
1	業務番号	アップデートされません。(ヘッダー行かどうかの判別のため、正の整数が入力されている必要があります。)
2	業務名称	アップデートされません。
3	中工程 ID	この項目をキーに中工程情報がアップデートされます。
4	中工程名称	アップデートされません。
5	チェックリスト	
6	重要度	この列が含まれている行を新規チェックリストとして中工程情報に追加します。重要度を 1~3 の整数値で記載する必要があります。

1 BOSS の操作手順

1.10 アナウンス機能

システム管理者・都道府県管理者・市区町村管理者・講師は他のユーザーに対してアナウンスすることができます。

BOSS 災害対応工程管理システム 地産 熊本県 都道府県管理者 kumamotoken_admin

アナウンス 通常モード 業務フロー

アナウンスはありません。

新規アナウンス作成

宛先:

都道府県 削除

市区町村 削除

内容:

熊本県ユーザー及び熊本県内のすべての市区町村ユーザーへ。 投稿

1.10.1 画面の説明

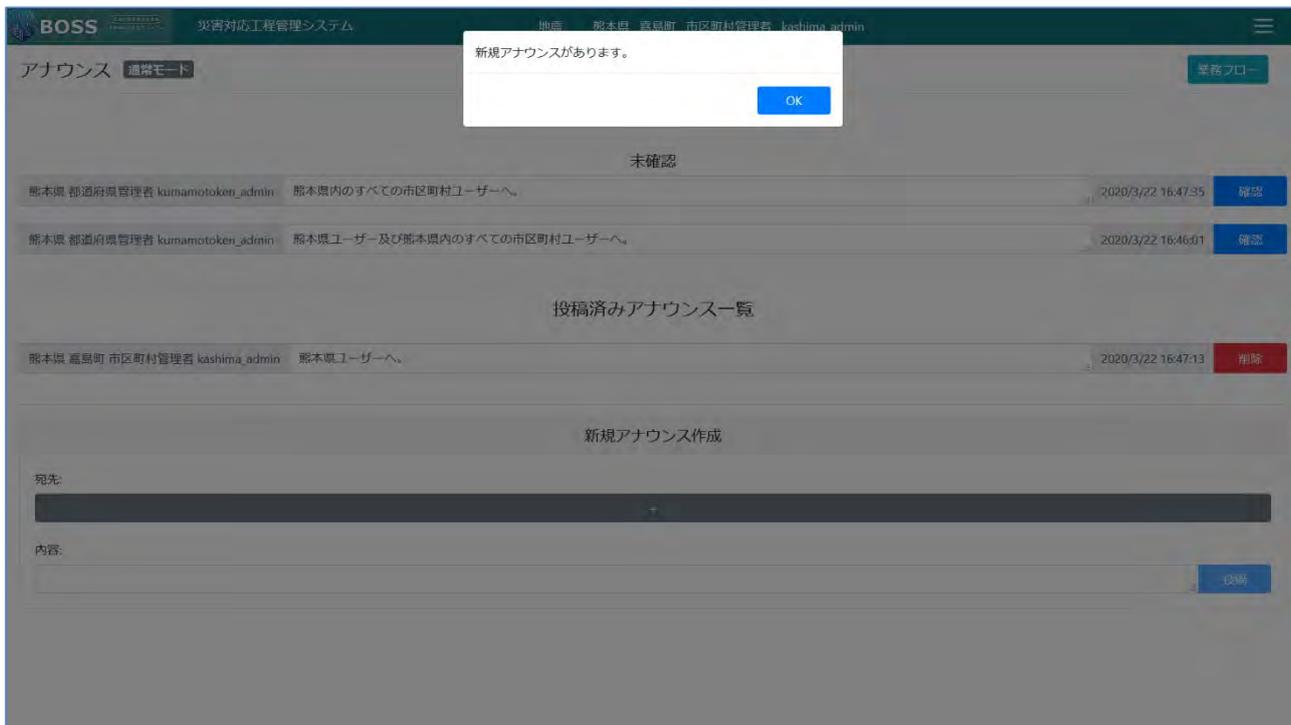
宛先として「都道府県」と「市区町村」を選択することができます。

システム管理者の場合、「都道府県」を選択すればすべての都道府県ユーザーに対して、「市区町村」を選択すればすべての市区町村ユーザーに対してアナウンスします。

都道府県管理者・市区町村管理者の場合、「都道府県」を選択すれば、自身が属する都道府県のユーザーに対して、「市区町村」を選択すれば、自身が属する都道府県内のすべての市区町村ユーザーに対してアナウンスします。

1 BOSS の操作手順

1.10.2 通知



アナウンスを受け取った場合、ログイン後に「新規アナウンスがあります。」というダイアログが表示されます。

このメッセージは、アナウンス画面の未確認自分宛アナウンス一覧にあるすべてのアナウンスを確認するまでログインの度に表示されます。

1 BOSS の操作手順

1.10.3 確認・削除

BOSS 災害対応工程管理システム 地域 熊本県 嘉島町 市区町村管理者 kashima_admin

アナウンス 通常モード 業務フロー

自分宛アナウンス一覧

未確認

熊本県 都道府県管理者 kumamotoken_admin	熊本県内のすべての市区町村ユーザーへ。	2020/3/22 16:47:35	確認
-------------------------------	---------------------	--------------------	----

確認済み

熊本県 都道府県管理者 kumamotoken_admin	熊本県ユーザー及び熊本県内のすべての市区町村ユーザーへ。	2020/3/22 16:46:01	
-------------------------------	------------------------------	--------------------	--

投稿済みアナウンス一覧

熊本県 嘉島町 市区町村管理者 kashima_admin	熊本県ユーザーへ。	2020/3/22 16:47:13	削除
-------------------------------	-----------	--------------------	----

新規アナウンス作成

宛先:

内容:

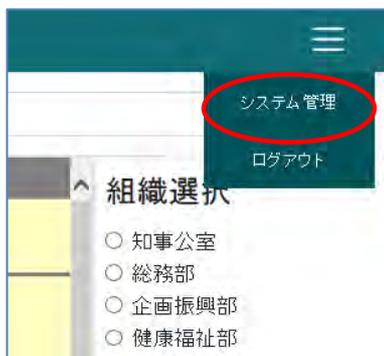
投稿

未確認自分宛アナウンス一覧にあるアナウンスに対しては確認ボタンが表示されます。アナウンスの内容を確認したら押下してください。押下後、そのアナウンスは確認済み自分宛アナウンス一覧に移動します。

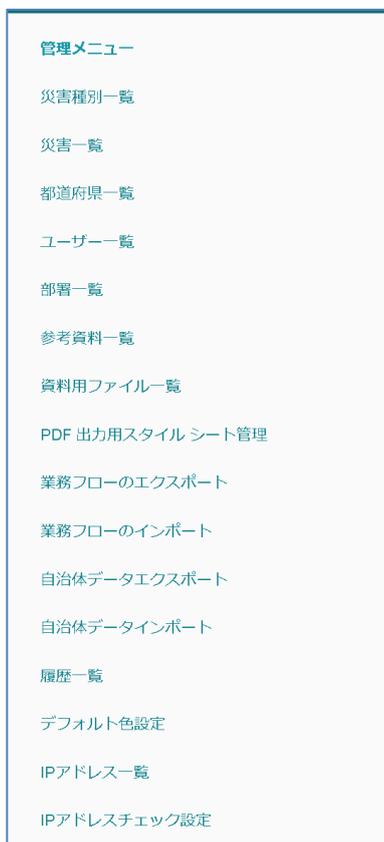
(確認ボタン押下時に「保存に失敗しました。」というダイアログが表示される場合、当該アナウンスがすでに削除されている可能性があります。その場合、画面をリロードしてください。)

自身が投稿したアナウンスは、投稿済みアナウンス一覧に表示されます。削除ボタンを押下することで、当該アナウンスを削除することができます。そのアナウンスは、宛先となっていたユーザーに対し未確認アナウンスとして通知されることも、そのユーザーのアナウンス画面に表示されることもなくなります。

共通ヘッダーからシステム管理画面へ遷移することができます。



「システム管理」をクリックし、管理者メニューを表示します。



管理者メニューでは、ユーザー、部署、地域防災計画 PDF などの管理ができます。
またシステムモード(通常/災害)の切り替えも行います。

1 BOSS の操作手順

1.11.1 管理メニューの基本操作

災害種別一覧、災害一覧、ユーザー一覧、部署一覧、地域防災計画 PDF 一覧、資料用ファイル一覧の基本操作について説明します。

(1) 新規登録

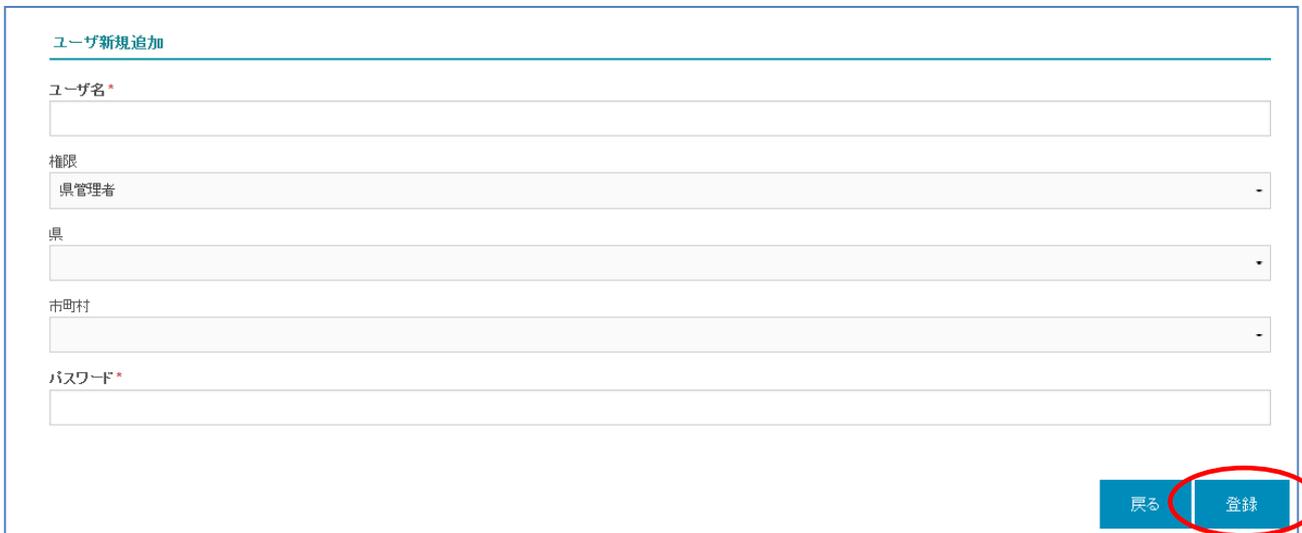
新たなデータを登録する場合は、下部の「追加」ボタンをクリックします。

(例としてユーザー管理画面を用いて説明します)



Id	ユーザ名	権限
4	kashima_admin	市町村管理
6	kashima	市町村管理
5	nishihara_admin	市町村管理
7	nishihara	市町村管理
2	kumamoto_admin	県管理者
3	kumamoto	県担当者

データを登録する画面を表示します。



ユーザー新規追加

ユーザ名*

権限
県管理者

県

市町村

パスワード*

戻る 登録

追加するデータの内容を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

1 BOSS の操作手順

(2) 既存データの編集

既に登録しているデータを変更する場合には、その該当データの右端にある「編集」ボタンをクリックします。

市町村	
嘉島町	編集 削除
嘉島町	編集 削除
西原村	編集 削除

データを変更する画面を表示します。

ユーザ編集

ユーザ名*
kashima_admin

権限
市町村管理者 -

県
熊本県 -

市町村
嘉島町 -

パスワード*
.....

戻る 削除 登録

データを変更し、最後に「登録」ボタンをクリックします。

削除したい場合は、「削除」ボタンをクリックします。

(3) 既存データの削除

市町村	
嘉島町	編集 削除
嘉島町	編集 削除
西原村	編集 削除

既に登録しているデータを削除する場合には、その該当データの右端にある「削除」ボタンをクリックします。

データの削除については編集画面から行うこともできます。

1 BOSS の操作手順

1.11.2 災害種別管理

災害種別管理画面の基本操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作を参照してください。

なお、災害種別管理画面ではログインしている災害種別については削除することができません。ログインしている災害種別を削除したい場合は、他の災害種別にログインして、削除してください。

基本操作以外の操作については、以下をご覧ください。

(1) 標準データのコピー

標準データのコピーをする場合は、右下の「標準データのコピー」ボタンをクリックします。

ID	災害種別名	対応時期一覧	編集
1	地震	対応時期一覧	編集
2	風水害	対応時期一覧	編集 削除

追加

標準データのコピー

< 前へ 次へ >

1/1ページ 2/2件

標準データをコピーする画面を表示します。

標準データのコピー

災害種別*
地震

都道府県*
熊本県

市区町村

戻る

コピー

標準データコピー対象を入力して「コピー」ボタンをクリックします。

1 BOSS の操作手順

1.11.3 災害管理

災害管理画面の基本操作については、1.16.1 管理メニューの基本操作 を参照してください。

災害管理画面ではシステム モードの切り替えと、チェックリスト CSV のエクスポートができます。システム モードの切り替えについては 1.17.17 通常/災害モードの切り替え をご覧ください。

「市区町村のシステム モード一覧」リンクより、「市区町村のシステム モード一覧」画面へ遷移できます。当該災害に対する当該都道府県に属するすべての市区町村のシステム モードを一覧で確認し、システム モードの切り替えおよびチェックリスト CSV のエクスポートが可能です。

(1) チェックリスト CSV のエクスポート

災害モードになっている災害と自治体の組み合わせには、「チェック リスト CSV をエクスポート」リンクが表示され、押下することでチェックリスト CSV をエクスポートすることができます。

ID	災害名称	都道府県	編集 削除	システムモード	
9	熊本県 地震 2	熊本県	編集 削除	災害モード 都道府県のみ	チェックリスト CSV をエクスポート 市区町村のシステムモード一覧
2	熊本県 地震 1	熊本県	編集 削除	災害モード 都道府県のみ	チェックリスト CSV をエクスポート 市区町村のシステムモード一覧

1 BOSS の操作手順

1.11.4 対応時期管理

対応時期管理画面を表示するには、災害種別一覧から「対応時期一覧」リンクをクリックします。

災害種別一覧

ID	災害種別名		
1	地震	対応時期一覧	編集
2	風水害	対応時期一覧	編集 削除

追加

標準データのコピー

< 前へ 次へ >

1/1ページ 2/2件

対応時期を管理する画面を表示します。

対応時期一覧 (災害種別: 地震)

ID	対応時期名	順番	災害モード時要対応	
1	災害予防	1	不要	上へ 下へ 編集 削除
	発災			上へ 下へ 削除
2	初動対応	2	要	上へ 下へ 編集 削除
3	応急対応	3	要	上へ 下へ 編集 削除
4	復旧・復興	4	要	上へ 下へ 編集 削除

戻る

発災追加

追加

< 前へ 次へ >

1/1ページ 4/4件

対応時期管理画面の基本操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作を参照してください。

基本操作以外の操作については以下をご覧ください。

1 BOSS の操作手順

(1) 順番変更

対応時期の順番を変更したい場合は「上へ」「下へ」リンクをクリックします。

災害モード時要対応	
不要	上へ 下へ 編集 削除
	上へ 下へ 削除
要	上へ 下へ 編集 削除
要	上へ 下へ 編集 削除
要	上へ 下へ 編集 削除

(2) 発災追加

発災を追加したい場合は「発災追加」ボタンをクリックします。なお、すでに発災が追加されている場合はクリックできません。

対応時期一覧 (災害種別: 地震)

ID	対応時期名	順番	災害モード時要対応
1	災害予防	1	不要
	発災		
2	初動対応	2	要
3	応急対応	3	要
4	復旧・復興	4	要

戻る **発災追加** 追加

<前へ 次へ>

1/1ページ 4/4件

1 BOSS の操作手順

1.11.5 都道府県管理

都道府県管理画面では、システム管理者の場合システムに登録されているすべての都道府県、それ以外のユーザーは自身の属する都道府県を確認できます。また、「市区町村一覧」リンクから当該都道府県に属する「市区町村一覧」画面へ遷移できます。

1.11.6 市区町村管理

市区町村管理画面を表示するには、都道府県一覧から「市区町村一覧」リンクをクリックします。



市区町村管理画面では、市区町村の順番変更ができます。

(1) 順番変更

市区町村の順番を変更したい場合は「上へ」「下へ」リンクをクリックします。

ID	市区町村名	順番	上へ下へ	システム
4	熊本市	1	上へ下へ	通常モ
14	宇土市	2	上へ下へ	通常モ
9	宇城市	3	上へ下へ	通常モ

1 BOSS の操作手順

1.11.7 ユーザー管理

ユーザー管理画面の操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作 を参照してください。

なお、DMTC モードの場合には、ユーザー一覧下部に講師追加ボタンが表示され、講師を追加することができます。講師追加の操作については、通常の新規登録操作と同じです。なお、DMTC モードの設定方法については、1.20 設定ファイル(DMTC 向け機能)を参照してください。



1.11.8 ユーザー編集可能災害種別管理

ユーザー編集可能災害種別管理画面を表示するには、ユーザー一覧から「ユーザー編集可能災害種別一覧」リンクをクリックします。

ユーザー一覧					
ID	ユーザー名	権限	都道府県	市区町村	
1	uties	システム管理者			編集
2	kumamotoken_admin	都道府県管理者	熊本県		ユーザー編集可能災害種別一覧 編集 削除
3	kumamotoken	都道府県担当者	熊本県		編集 削除
4	kashima_admin	市区町村管理者	熊本県	嘉島町	ユーザー編集可能災害種別一覧 編集 削除
5	nishihara_admin	市区町村管理者	熊本県	西原村	ユーザー編集可能災害種別一覧 編集 削除
6	kashima	市区町村担当者	熊本県	嘉島町	編集 削除
7	nishihara	市区町村担当者	熊本県	西原村	編集 削除

1 BOSS の操作手順

ユーザー編集可能災害種別を管理する画面を表示します。

ユーザー編集可能災害種別一覧 (ユーザー: kumamoto_admin)

設定されていない災害種別は、既定で編集可として扱われます。

ID	災害種別	編集可
<div style="display: flex; justify-content: space-between;">戻る追加</div>		
< 前へ 次へ >		
1/1ページ 0/0件		

ユーザー編集可能災害種別管理画面の操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作 を参照してください。

1 BOSS の操作手順

1.11.9 部署管理

部署管理画面の操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作 を参照してください。

1.11.10 地域防災計画 PDF 管理

地域防災計画 PDF 管理画面の操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作を参照してください。

1.11.11 資料用ファイル管理

資料用ファイル管理画面の操作については、1.17.1 管理メニューの基本操作を参照してください。

1 BOSS の操作手順

1.11.12 履歴管理

履歴管理機能では、履歴一覧の閲覧、検索ができます。



The screenshot shows a web interface for history management. At the top right, there are two links: '初期状態に戻す' and '表示条件設定'. The '表示条件設定' link is circled in red. Below the links is a table with the following columns: 'オブジェクト番号', 'ユーザ', '画面名', '発生日時', and '備考'. The table contains three rows of data.

	オブジェクト番号	ユーザ	画面名	発生日時	備考
終了	1	kumamoto_admin	システムモード	2018/04/04 17:29	
開始	1	kumamoto_admin	システムモード	2018/04/04 16:19	
登録	273	kumamoto_admin	詳細情報画面	2018/04/04 16:04	

「表示条件設定」リンクを押下すると、履歴一覧の表示条件を設定することができます。

1 BOSS の操作手順

1.11.13 デフォルト色設定管理

デフォルト色設定管理機能ではフローチャートのボックス色、背景色を設定できます。

デフォルト色設定

ID	標準フロー	都道府県	業務ボックス色	中工程ボックス色	背景色	
1	○		Vivid Blue	Bright Blue	Very Pale Yellow	編集
2		熊本県	Vivid Blue	Bright Blue	Very Pale Yellow	編集
3		静岡県	Vivid Blue	Bright Blue	Very Pale Yellow	編集
4		福岡県	Vivid Blue	Bright Blue	Very Pale Yellow	編集

< 前へ 次へ >

1/1ページ 4/4件

デフォルト色設定を編集したいフローチャートの右側にある編集リンクをクリックします。

データを変更する画面を表示します。

デフォルト色設定編集

標準フロー

都道府県

業務ボックス色

中工程ボックス色

背景色

戻る 登録

データを変更し、最後に登録ボタンをクリックします。

1 BOSS の操作手順

1.11.14 通常/災害モードの切り替え

災害発生時には新規災害画面で都道府県に対し災害を新規登録できます。

当該都道府県およびそこに属するすべての市区町村は、その災害に対してシステムモード（通常モード / 災害モード）を切り替えることができ、災害モード中は要対応項目の進捗などを登録・確認できます。

ID	災害名称	都道府県	編集 削除	システムモード	チェックリストCSVをエクスポート	市区町村のシステムモード一覧
9	熊本県 地震 2	熊本県	編集 削除	災害モード 都道府県のみ	チェックリストCSVをエクスポート	市区町村のシステムモード一覧
2	熊本県 地震 1	熊本県	編集 削除	災害モード 都道府県のみ	チェックリストCSVをエクスポート	市区町村のシステムモード一覧

管理メニューの一番下、「システム モード変更」、または災害一覧画面・市区町村のシステム モード一覧画面でシステム モードを変更します。

確認のためにポップアップ画面が開くので、変更する場合は「OK」を選択します。

1.12 設定ファイル(共通)

1.12.1 UI 設定

サーバーの管理権限がある場合、設定ファイル (boss/webroot/settings.json) で各種設定が可能です。

設定ファイルの内容は以下のようになっています。

```
{
  "locale": "ja",
  "flowchart": {
    "string": {
      "char": {
        "width": {
          "magnification": {
            "ja": 1,
            "en": 0.5
          }
        }
      }
    },
    "box": {
      "width": {
        "ja": 160,
        "en": 240
      },
      "height": {
        "magnification": {
          "ja": 1,
          "en": 1
        }
      }
    }
  }
}

"locale": "ja",
```

とすることで、表示する言語を日本語に、

```
"locale": "en",
```

とすることで英語にすることができます。

また、それ以外の設定に於いても、「ja」は日本語環境、「en」は英語環境に対して適用されます。

flowchart.string.char.width.magnification は、その言語に於いて、文字の高さに対する横幅の割合です。

この値を用いて Box の高さやフローチャート内の「発災」ヘッダーの幅などを決定します。

flowchart.box.width は Box の幅です。

flowchart.box.height.magnification で、Box の高さを調整できます。

幅 (flowchart.box.width)、文字数 (業務と中工程すべての中で最大のもの)、フォント サイズ、flowchart.string.char.width.magnification 等に基づいて自動で算出された Box の高さに対し、この値をかけることで調整します。

ただし、高さはハード コーディングされた最低値 (80) を下回ることはありません。

1.12.2 自治体データファイルエクスポート設定

サーバーの管理権限がある場合、設定ファイル (boss/webroot/app.php) で自治体データファイルエクスポートに関する設定が可能です。

```
/**
 * 自治体データのファイルエクスポートに関する設定
 */
'FileExport' => [
    'maxFileNumber' => 100, // エクスポートできるファイルの最大数
    'maxUnzipDirectorySize' => 300 * 1024 * 1024, // 圧縮前のファイル
    サイズの最大値(バイト単位)
],
```

となっていますので、'maxFileNumber' の設定を変えることで、エクスポートできるファイル(資料用ファイルと地域防災計画 PDF ファイル)の最大値を変えることができます。

また、'maxUnzipDirectorySize' の設定を変えることで、圧縮前の ZIP ファイルサイズの最大値を変更することができます。

1.12.3 災害モード時の画面更新間隔

サーバーの管理権限がある場合、設定ファイル (boss/webroot/app.php) で災害モード時の画面更新間隔に関する設定が可能です。

```
/**
 * 災害時の画面更新間隔(分)
 */
'ReloadIntervalMinutes' => 2.5
];
```

となっていますので、'ReloadIntervalMinutes' の設定を変えることで、以下の災害時の画面更新間隔を分単位で設定できます。(都道府県ごとではなくサーバーごとに設定する)

自動画面更新対象:

- ・業務フロー画面、中工程フロー画面
- ・災害モード系画面(ガントチャート、一覧、サマリ、ツイート)